



取扱説明書 対象年齢6才以上

※イラストや写真は実際の商品と多少異なる場合があります。
 ※別売アルカリ乾電池2号電池(別売・既製電池) REQUIRES2LR6("AA"size)BATTERIES(NOT INCLUDED)
 この書は、タカラトミー「キョロQ-eyes」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。



警告 (けいこく)
保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●この製品には小判の磁石が含まれています。万一磁石を食む人が場合には、すぐに医師の診察を受けてください。●ショートさせると大電流が流れ、危険です。絶対に避けてください。●水にぬれたらすぐに使用をやめてください。ショートの原因になります。●水や水を入れたり、分解、ハンダ付けは絶対にしないでください。●火の近く、高温・多湿の場所での使用、充電、保管はしないでください。●充電は専用充電機を使用してください。●電池を誤使用すると発熱・発煙・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。●充電機(ニカドなど)電池、ニッケル水素電池(オキシライド電池など)、絶対に使用しないでください。●古い電池と新しい電池、異なる種類の電池を混ぜて使わないでください。●+-(プラスマイナス)を正しくセットしてください。●電池の裏面は必ずスイッチを切り電池をはずしてください。●ショートさせたり充電、分解、点検、火の中に入れたりしないでください。●万一、電池から水が漏れた場合はすぐに大量の水で洗い、皮膚に接触してはならない。皮膚や目についた場合は水で洗ってください。●磁石するタイヤなどに、鉄や鋼のもの、金属などははさまれないように注意してください。●磁石の事故の恐れがありますので、遊んだ後は必ず3才未満のお子様の手に触れない所に保管してください。

＜使用上の注意＞

●磁石が入っている透明トレイや説明カバーは梱包材です。開封後はすぐに捨ててください。●精密な電子部品を使用しております。素子したり、水にぬらしたり、汚したり、分解しないでください。●高温、低温になる所での使用・保管は避けてください。●太陽光の当たる場所や蛍光灯のすぐ近くなど光の刺激で正常に作動しない場合があります。●Q-eyesの上など摩擦の高いの上ではうまく走らない場合があります。●Q-eyes本体には磁石を内蔵しております。磁気に影響を受けるもの(磁気カードなど)を近くに置かないでください。●まれにテレビのリモコンなどの製品の赤外線のリモコンの影響で動作を止したり、逆にテレビなどの赤外線受信装置に影響を及ぼす場合がありますのでご了承ください。

セット内容

Q-eyes 本体: 1 個
 別売品: 1 個 取扱説明書(未込): 1 枚

※説明に使用しているイラストのQ-eyesの車種は、目録GT-Rです。

電池の入れ方

- 充電機背面にある電池止めのネジをプラスドライバーでゆるめ、電池止を取り外します。
- 向きに注意して単3アルカリ乾電池を入れます。
- 電池止を逆のように締めて、電池止止めネジをプラスドライバーでしめます。電池交換をするときは、すべて新しい電池と交換してください。

充電の仕方～走らせ方

- Q-eyes本体裏面のスイッチをOFFにしてタイヤの回転を止めます。
- 充電機の電源をONにします。
- Q-eyesのスイッチをCHARGEにします。

図のように向きに注意して、3つの突起がはさめるように充電機にQ-eyesを軽く押しあて充電します。強く押し過ぎないように注意してください。約10分で充電が完了します。充電機が赤色のランプが点灯した場合は、充電が完了しています。

4 充電後、そのままの状態でもAまたはBのスタートボタンを押してください。

スタートボタン この時に押したスタートボタン(AまたはB)によって、発着光が正面にある時の反応が変わります。

Aモード	バックして切返す
Bモード	停止する (障害物が検知されると、再び走行)

5 単なる直にQ-eyes本体を置き、自動走行をさせます。約1分間走行します。(充電機からQ-eyes本体を外すと、1秒後にタイヤが回転をはじめます。)

※Q-eyesは、障害物を検知するまで前進し続けますので、テーブルなどからの落下に気をつけてください。

Q-eyesの自動走行とは

バックしてから切返す → 障害物センサー → よける!

正面にある障害物をバックで切返してよける。または障害物の前で停止します。(AモードとBモードで異なります。)

Q-eyesの正面、左右についた障害物センサーで障害物をよけます。

走るコース作りのポイント

- コース幅が15cmより狭いと左右の障害物センサーが同時に働き、Q-eyesが停止してしまう場合があります。
- コーナーの曲分も、コース幅は15cm以上必要です。
- 色が濃いもの、鏡・金属などの光を反射するもの、または透明なものには、センサーが反応しにくい場合があります。

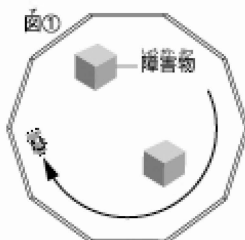
コースを作ろう

身の回りの物を使って自分だけのオリジナルコースを作ってみよう。

コースの数は無限大!



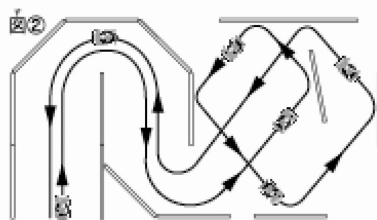
※コースに使用するもの長や材質などによってはQ-eyesのセンサーが反応しにくい場合があります。



コースの作り方例

PLAY 01

最初に、Q-eyes が外に出ないよう囲いを作ろう。(図①)
次に、Q-eyes がどのような動きをするのかを
確かめながら、囲いの中に障害物を置いてみよう。



PLAY 02

スタート地点に戻ってくるようなコースを
作ってみよう。コースといっても、周りを全て
囲む必要はありません。図②を参考に配置を工夫して
みよう。Q-eyes がコースをそれてしまった時は、
障害物の代わりに手をかざして再びコースに
戻してみよう。

((((他にも色々なコースを作って走らせてみよう!)))

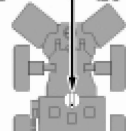
直進性の調整方法

Q-eyes 本体が直進しない場合、
マイナスイヤドライバーなどで
本体裏にあるトリムスイッチを
回転させることで進行方向を
調整できます。

※タイヤやシャフトにホコリなどの
ゴミがつくと直進性が悪くなるので、
その際はセロハンテープなどを使って、
ゴミを取り除いてください。

トリムスイッチ

【左に回す】
【右に回す】



前輪部分が外れた場合

前輪が外れた場合は、
ピンセットなどを使って、
図のように取り付けてください。
(上図ではボディのイラストは省略しています。)



トラブルシューティング

症状	原因	対策
走行しない	Q-eyes 本体のスイッチがCHARGEになっていない。	Q-eyes 本体のスイッチをCHARGEにしてください。
	充電時に接続点がしっかりと触れていない。	充電時にQ-eyesと充電器の向きを確認し、接続がゆるいようにしてください。 (Q-eyesを充電器に強く押しあてないように注意してください。)
	充電時に充電器の電源がONになっていない。	充電器の電源をONにしてください。
	充電器からQ-eyesを外す前にスタートボタンを押していない。	Q-eyesと充電器の接続を接続させたまま、AとBどちらかのスタートボタンを押し、その後充電器からQ-eyesを外してください。
	Q-eyesの障害物センサーが左右とも同時に反応している。	障害物センサーが左右同時に反応すると、正真正に障害物があると認識して停止します。左右の障害物センサーが同時に反応しない位置に、障害物もしくはQ-eyesを移動してください。
うまく自動走行しない	直前直光など明るすぎる場所で走行させている。	障害物センサーに赤外線を使用しているため、直前直光などの強い光には影響を受ける場合があります。強い光の当たらない場所で走らせてみてください。
	タイヤやシャフトにゴミが付着している。	セロハンテープなどを使って、ゴミなどを取り除いてください。
	じゃつたんや、抵抗の強い道で走行させている。	平らなテーブル面、フローリングなどで走行させてみてください。
	トリムスイッチが調整できていない。	取扱説明書(本誌)の「直進性の調整方法」を見て調整してください。
	前輪が外れている。	取扱説明書(本誌)の「前輪が外れた場合」を見て取り付けてください。
	電池が消耗している。	接続がゆるい場合は確認し、Q-eyes本体を充電してください。それでも改善しない場合は、充電器の電池が消耗している場合があります。10秒より長めに充電するか、充電器の電池を全て交換してください。
	障害物センサーで反応できない位置やタイミングがあります。	Q-eyesの正面、左右についた障害物センサーで感知しているため、小さな障害物が真正面にある場合や、バツクした時に後ろに障害物がある場合は感知できません。また、走行しながらセンサーで感知しているため、環境によってはつかつたりする場合があります。
直前直光など明るすぎる場所で走行させている。	障害物センサーに赤外線を使用しているため、直前直光などの強い光の影響を受ける場合があります。光を障害物と感知してしまう場合や、光を反射している障害物を感知しない場合など条件によって異なります。強い光の当たらない場所で走らせてみてください。	

発売元：株式会社 タカラトミー

タカラトミーは「子どもたちの笑顔のためにおもちゃと遊具を通じて最先端の技術と
の力で、常に挑戦し続ける。成長を促すだけでなく、お楽しみは同時に学びの場
となるように取り組んでいます。パッケージのデザインやイラストなど、あらゆる場面で
こだわりのデザインを追求し、製品に反映させ、お客様の心を捉え、感動を届けることに
取り組んでいます。未来を拓くための挑戦を、これからも続けていきます。

●お問い合わせ先：タカラトミーカスタマーセンター <http://www.takaratomy.jp>

タカラトミー お客様相談センター 0570-041031
〒124-0811 東京都葛飾区立石 7-4-10
受付時間(お問い合わせは下記お客様相談センターの受付時間とさせていただきます)
電話受付時間 月曜日～金曜日(祝日・休日を除く)11時～17時
FAX 17番線からの受付時間 00-5450-1101

0570-041031 0570-041031

<http://www.takaratomy.co.jp/support/index.html>